

日パキスタン外交関係樹立70周年記念レセプション  
岸田総理祝意メッセージ

シャバーズ・シャリフ首相、イスマット臨時代理大使、御出席の皆様、

まず、先日、シャリフ首相が就任されたことにお祝い申し上げます。

1952年4月28日、サンフランシスコ平和条約が発効し、日本は独立を回復し、まさにその日に、日本はパキスタンと外交関係を樹立しました。それから70年、この記念すべき日を皆様とともにお祝いできることを大変嬉しく思います。

日本とパキスタンはこれまで、互いに困難なときには手を差し伸べ合いながら、長年に亘って友好関係を育んできました。

戦後、パキスタンが日本に輸出した綿花は、日本の繊維産業の支えとなり、日本の戦後復興を大きく後押ししました。その一方で、日本はこれまでパキスタンに対し、水、保健、教育、防災等、日本が得意とする分野を中心に、継続的に支援を行ってきています。

日本とパキスタンはともに、災害の多い国でもあり、互いに支え合ってきています。パキスタンが2005年の大地震、2010年の大洪水に見舞われた際、日本は、国際緊急援助隊を派遣するとともに、円借款や無償資金協力を行いました。2011年、東日本大震災が発生した際には、パキスタンからミルクやビスケット等の救援物資を送っていただいたほか、日本にいるパキスタン人の方々も、被災地で炊き出し支援等を行っていただきました。

最近では、昨年8月、アフガニスタンの情勢が悪化した際、現地に残る邦人や日本大使館・JICA現地職員等の出国のために、パキスタン政府から多大なる協力を頂きました。

パキスタンは、アジアと中東を結ぶ要衝にあり、地域の安定のみならず、国際テロ対策における最重要国の一つです。「自由で開かれたインド太平洋」の実現に向けて、日パキスタン間でも是非とも協力していきたいと考えます。

この節目の年に、重要なパートナーであるパキスタンとの二国間関係を、更なる高みに引き上げていきたいと考えています。私自身、シャリフ首相、そしてパキスタンの皆様とより一層緊密に協力していく決意です。

両国の繁栄と両国国民の友好関係の更なる深化を心より祈念します。

シュックリヤ（ありがとうございました）。

（了）